

# 理 由 書

本地区は、人吉市の中心市街地の西部に位置し、都市計画道路3・5・13相良鬼木線及び都市計画道路3・5・14下町宝来線が地区を東西に貫通し、地区の東側は国宝青井阿蘇神社の門前として観光・文化関連の施設が立地し、地区の西側は店舗併用住宅や住宅等が立地する落ち着いたある住宅地である。

「人吉市復興計画」では、国道445号の未改良区間は道路管理者に対し拡幅を前提とした改良の要望を行い、災害時の緊急輸送道路としての機能を十分に発揮できるよう早期整備を進めるとともに、青井阿蘇神社と球磨川を結ぶエリアについては、神社及び球磨川と調和した景観を形作り復興のシンボルとなるよう、民間による参画も含めた賑わいのある空間づくりを進めることとしている。

「人吉市復興まちづくり計画」では、青井地区の将来像として「青井阿蘇神社を中心とした歴史文化・賑わいの形成」を掲げており、「多彩な歴史文化・自然を楽しめる賑わいあるまちづくり」、「暮らしの安心やコミュニティを協働で育むまちづくり」、「まちなかの利便性を活かし、快適な市街地環境を育むまちづくり」の3点を復興まちづくりの目標とした、良好な市街地の形成を図ることとしている。

一方、地区の課題解決として、避難路・避難地の確保、緊急輸送道路の改良、未接道敷地の解消、住宅地の安全性の向上等があり、復興まちづくりの推進と併せて地区の課題を解決することが必要である。

よって、上位計画に基づく復興まちづくりを推進するとともに、地区が抱える課題を解決し、令和2年7月豪雨からの早期復興を図るために、被災市街地復興土地区画整理事業区域約5.2haについて、都市計画決定を行うものである。